

日時 平成28年2月20日(土)
午後2時00分から3時30分
場所 文化福祉センター

質問1

「図書館の充実(職員の数)」について

【質問者】

昨年度の夏のタウンミーティングに参加させていただきました。普段は図書館でボランティアをしております。昨年度は町長に直にお願いすることができませんでしたので、改めて用紙に書かせていただきました。図書館に赤ちゃんを連れのお母さんが利用する部屋が奥の方にあり、男性はそこにあまり入られることはないですが、そこに赤ちゃんたちが利用する本棚がなく、それをお願いしましたところ、3月に作っていただくことができました。そして、文字をまだ読むことができない赤ちゃんたちが本の表紙を見て自分で選んだり、側に近づいていって楽しんだりしています。なくてはならないものだったのですが、これまでは必要性について誰も言う人がいませんでした。私はいつもボランティアで赤ちゃんは、本の表紙を見ることなく、本を引きずり落として、そして本を見ていたのですが、お母さんたちはその赤ちゃんの行動に辟易としてじっくりと本を選ぶことができていませんでした。この子はどのように本を落とすのよ、といった感じで少しヒステリーになったりして、本当に気の毒な状態でしたが、そのことについてお願いしたところ、良いものを作ってくださいました。赤ちゃんたちは言葉では言わないですが、本当に喜んで利用しています。私がお母さんたちを助けたときに、職員の人達が図書館の職員の数が足りないとおっしゃっていました。そして、このようなお願いをしたときに、また仕事が増えたといった感じでしばらくはクレーム扱いをされました。30年もずっとボランティアをしているのに邪険にされ、もう辞めるしかないと思いました。タウンミーティングで大変なことを頼んでしまったと本当に後悔していたのですが、3月の棚が完成した時は図書館の方にとっても喜ばれました。この時、それだけ時間が足りないのだなと感じ、今回はそのことについてお願いしたいと思いました。図書館はやはり、今既にあるものです。それを子どもの教育や子育てにも、質・量的にももう少し充実させて、もっと利用してもらわなければならないと思っています。それが総合戦略には一言も入っていないので、なぜなのかというのが正直な感想です。もっと利用して、他の自治体の図書館を見学していただくと良いと思います。よく利用されているところであれば入っていく子どもの表情もぜんぜん違います。とにかく去年の棚の設置に関して

は本当にありがとうございました。また図書館をお見捨てになることなく、もっと充実させていただきたいと思います。ありがとうございました。

【町長】

ご指摘、ありがとうございました。図書館の運用をどのように活性化していくかということについて、おっしゃるようにヒトとカネがあれば色んな展開ができると思っていますが、なかなか予算的なことでは、なるべく対応もさせていただいていますが、特にやはりヒトの問題については、正規職員が確保できにくいという状況もあるため、できるだけボランティアの方にも力を貸していただきながらきめ細かい対応ができないかなと思っています。最近では学校図書館の充実も必要ということで、昨年からは司書の配置をさせていただいたり、予算の拡充など新たな取組をやらせていただいています。総合戦略でも触れてはいますが、「ビブリオバトル」というイベントを開催したいと思っています。3月26日が第1回目となっており、地域交流センターで行いたいと思っています。今回は中学生と高校生を対象に行いますが、一般の方にもぜひ次の機会にお試しいただきたいと思っています。一般の方、あるいは小学生、中学生にも本を親しんでいただく環境ということで色々と工夫をしています。また、場面は少し違いますが、昨年からはブックスタートという事業もスタートしています。小さなときから本に親しむ環境が色んなことに効果的だということも聞いており、昨年からはスタートさせていただきました。やはり子どもたちには本に親しみ、きちんとした日本語を身につけていただきたいと思います。外国語も大事ですが、やはりきちんとした日本語を読み書きできるということがコミュニケーションの基本となりますので、小さいうちからしっかりと学んでいただきたいと思っています。そのような環境整備をなるべくしていきたいと思っています。今後ともぜひよろしくお願ひします。

質問2

「貧困児童における対策」について

【質問者】

住み良いまちづくりの中のひとつだと思いますが、最近日本は貧困事情がすごく問題になってきています。世界の中でもかなりランクが下がっていることです。そういったことから、王寺町の貧困事情の実態を把握されているのか、また把握されたとして、どのような対策をとっていかれるのかを教えてくださいたいと思います。よろしくお願ひします。

【教育次長】

教育次長の乾と申します。幼稚園、小学校、中学校の園児・児童・生徒については、就園など色々な対策をさせていただいております。貧困というよりは、所得の低い方を対象にそういった支援制度を実施しているのが現状です。学校関係からは以上です。

【住民福祉部参事】

住民福祉部参事の山岡と申します。教育委員会からの説明がありましたとおりです。直接貧困というものを設定したものではありませんが、寺子屋塾（雪丸サポートスクール）等での利用料の減免など、そういった形で対応させていただいております。生活実態などまでは今のところ把握の必要性があるとなったなど、緒についたところですので。今の段階でお答えできることがこの辺になり申し訳ございませんが、以上でございます。

質問 3

「自主防災活動における地域ぐるみでの取組強化（中学生などとの連携）」について

【質問者】

一昨年から自主防災会に入り、昨年の後半から班別に担当を分けております。私は今、避難誘導班になっています。昨年の秋に、実際に防災訓練で要支援者の送り迎えをしました。よく考えてみると30年以内に70%の確率で南海トラフ地震が起きると言われており、喫緊の課題ですが、我々自主防災会のメンバーも高齢者が多くなっています。実際に災害が起こったときに、本当に我々にできるのか素朴な疑問があります。これは自治会だけの問題ではなく、地域で協議して取り組まなくてはならないと思います。隣に中学校があり、南小学校があります。実際に昼間に災害が起こったときに、若い人は会社に勤められているので、極端に言えば地域にいるのは老人ばかりになります。それから小さい子どもです。そこで、中学生や小学生の高学年の力を借りるなどしてはどうでしょうか。中学校や小学校では体育館にみんな集まればよいということではなくて、やはり乳幼児や妊婦、障害者、また重症の怪我人などがいた場合は、各教室に割り振りをしなければなりません。そうなれば、各校長や先生方の許可を得なければならぬなど色々な問題がありますが、できれば今年の秋くらいには振り分けて避難ができるようなシミュレーションをしたいと思っております。教育委員会など、こういった関係があるかは分かりませんが、できれば地域ぐるみでそういった話し合いができて、実際に避難するときに学

生に支援をしていただければ良いと思います。そして各部屋割りで色々な症状によって分けていく形が良いと思います。また食料の備蓄も徹底的に各個人が一週間ほどやるなどを地域的に取り組んでいく必要があります。地域ぐるみで検討できるような機会をもつていただければ非常にありがたいと最近感じました。よろしくをお願いします。

【総務部長】

総務部長の中野でございます。ありがとうございます。今おっしゃっていただいたとおり、災害、特に大規模災害で南海トラフ等を含めた大型地震が今後かなりの確率で起こるということで、各地域など色々なところでお取り組みいただいております。よく言われておりますように、大規模災害が起こった場合、行政としてできることは本当にたかがしれています。ただそれ以前に、おっしゃっていただきました地域での取り組みに対して、色々な意味で事前に協働させていただいたりすることが、本来大きな災害が起こったときの減災につながってくると意識しております。そういう意味で、地元での自主防災会等々を通じた防災に対する活動の中で色々な問題点が出てくるかと思えます。美しヶ丘の地域でも大変長く自主防災活動を取組まれているという認識は持っております。また他の地域でもそういった活動をしていただいておりますが、防災総合訓練等々色々な活動ごとに課題が出てきます。ただ訓練を通じて課題が出てきて、それを事前にひとつずつできるだけ対応していくということが本来の訓練の目的ではないかと思えます。そういう意味では、おっしゃっていただいた内容につきまして色々なご提案も含めて町としてもできる限り協議をさせていただきたいと感じております。特に、今おっしゃっていただいた中でも、災害時の災害弱者と言われる要支援者、ひとりで避難行動をとるのに支障のある方を含めた、そういった方に対応する命を助ける行動は本当に大事な部分になります。最も難しい問題であり、特に一人ひとりご事情が違いますので、どういった対応をしていくかは本当に難しい問題であります。重要な内容というのは中々手が届いていると言える状態ではないと思えますが、今後とも、それぞれの方に合った避難の支援をする避難行動計画を個別的に作っていくことが必要ということで、要支援者名簿というものを整備いたしました。個人の情報になりますが、それぞれの方のご理解をいただき、それに従って事前にみなさまの地元の中で個別にどういった対応をしていくかという検討を行うことも含めて今後取り組んでいく必要があると思えます。そういったことについて、町としてもしっかりと支援をしていきたいと思えます。また受け入れ体制として、福祉避難所として高齢者の方、障害をお持ちの方などそれぞれについて、どういった場所でどのような適切な対応ができるのか、また何をその場所に備える

必要があるのかについてしっかり整理をし、場所作りをしていきたいと思います。今後ともご協力並びに色々なご意見をいただけたらと思います。

【町長】

ご質問ありがとうございます。普段から色々のご協力いただきまして、ありがとうございます。自主防災会の組織化を今行っているわけですが、各自治会や防災組織ごとの濃淡はかなり違っています。それを全体としてどのようにレベルアップを図っていくかは重要な課題です。美しヶ丘は防災士の方もたくさんおられ、ご活躍、ご活動いただいております。その成果をまた教えていただき、各地域へ普及させていただきたいと思っています。全体としての底上げをどう図っていくかが重要です。しかし、これについては申し訳ないですが、一朝一夕にはできません。役場だけでもうまくいきません。部長からも申しましたとおり、やはり避難訓練を、ある程度テーマを決めてそれを積み重ねる中で、課題を出してそれに対処していくという地道な活動の積み重ねで課題をつぶしていくしかないのではないかと考えているところです。一方で個別の要支援者の支援計画をぜひ作っていききたいと思えます。やはり個人情報ですので、情報の管理も十分に気をつけなければならないです。管理者側にもある程度義務付けをさせていただき、プライバシーに当たることにも十分配慮しながら、いざという時に命を守る行動をできるだけ早く取れるようにしたいと思えます。これはみなさま共通の課題だと思えますので、ぜひ全体の底上げにご協力いただきたいということをお願いしたいと思えます。よろしくお願ひします。

質問 4

「総合戦略を住民へ周知及び参画していただく方法の検討」について

【質問者】

今回、立派な総合戦略を作ってください喜んでおります。今日はタウンミーティングでこれだけたくさんの方に集まっていただきましたが、これからどのように住民に周知を図ろうと考えているのでしょうか。どのようにして住民の方に参加しようという気持ちになっていただくかが一番大事だと思います。それがなければ絵に描いた餅になってしまいます。町が周知を図るとき、例えば自治会を通じて依頼するときには色々な方法があると思えますが、工夫をして住民が参加できるような体制をお作りいただきたいと思えます。

もうひとつ人口ビジョンもいただいております、王寺町は1995年から人口が減少していますが、その原因が何か分かりません。一番良いのは住宅がたくさん建てば何もいうことはないのですが、町長もおっしゃっていたとおり狭い町

ですのでそれもなかなか難しいと思います。そのような中で、例えば王寺町は確か65歳以上の高齢者が約25%だったと思いますが、私のところの自治会では38%で13ポイント高くなっています。最近の若者は一緒に住む必要がないということで、3世帯云々という話も出ていました。また町外へ出ていかれたら戻ってこられないということになり、38%まで上がりました。ひとつの組では60%まで上がっているというところもあります。どのように地域で一緒に暮らせるようにすれば良いのかということも色々ご検討していただけたらと思います。

【町長】

ご意見ありがとうございます。今回の総合戦略は実は3日前からこのようなタウンミーティングを始めて、来ていただいた方にはこうして段階でお示しをさせていただき、意見をいただける機会としております。おっしゃるように、どのように住民のみなさまに幅広く知っていただくかを検討しなければなりません。この冊子を各家庭に配布するのが良いのかなど、工夫の余地があるかと思います。例えば、地区自治連合会のエリアで必要に応じて説明会をさせていただくこともあると思います。直近では案を固めるに際しまして、パブリックコメントということで、ホームページを見ていただかなければなりません、みなさまからホームページの中でご意見をいただくということになります。しかしそれに留まらずに、今申しましたとおり、来年度に地区自治連合会のエリアで説明会をさせていただくこともあり得ると考えています。いずれにしても知っていただき、またみなさまに関心を持っていただく必要があります。そのために、どのような手法が一番効果的か常に悩んでいるところです。またご提案をぜひいただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。

質問5

「若い世代の関心をひくため、町HP（広報全般）のリニューアル・全部の施策を達成できるのか、絞った方が効果上がるのでは・説明の仕方の工夫（取組を行うことで、効果が上がるなど）・「利便性（交通）の良い町」王寺のPRを」について

【質問者】

私は南元町に住んでいます。南元町の住所からも分かるように、王寺町外から5、6年前に転入してきました。今日いらっしゃっているメンバーからするとそういった面々はこのような機会になかなか参加していないということを非常に感じます。王寺町のホームページを見ると、今時はみんなスマートフォン

で見るのに王寺町のホームページはそれに対応していませんでした。転入してから、子どもができて色々やっていく中で、王寺町の役場あるいは王寺町でどんなことをやっているのかを調べようと思っても結構見にくいです。どこのセクションで何をされているのか分かりづらいところがあるので、あまりこれまでの形にこだわらず、一度抜本的に情報発信の仕方は検討していただければというのが、まず一つです。

また今日は戦略ということでお伺いしまして、これは完全に個人的な感覚になるのですが、王寺町というまちの規模からすると全体的に総花的になっていて、本当にこれだけのことを王寺町のリソースでできるのかなと感じています。私は大阪に通勤していますが、王寺町はロケーション的に大阪まで電車を使うと20分で行くことができ、非常に良い位置にあると思っており、我々の世代にもっとアピールできれば、社会増の影響は少ないと書いていましたが、もっと社会増を見込めるのではないかと思います。その辺のところを考えていくにあたっては、今回の戦略の骨子についてシミュレーションされていると思いますが、そのシミュレーションの中で、どれが効果があるのかないのかをもう少し開示していただき、その中でもっと効果がありそうなところに重点的に配分するなど、選択し、集中して取り組まれた方が、限られた範囲でより大きな効果が出るのではないかと思います。他を捨てるということではないですが、やはりバランスを取られているところが今回のご説明では見えなかったもので、そういったところを含めての戦略とした方が良いのではないのでしょうか。それが戦略だと思います。今日ご説明いただいた戦略からどのような効果が出て王寺町の方針につながります、というようなご説明があると、聞いている人が、どのようなことを行えばどのような効果があるかということが分かりやすいと思います。そういった視点でもご説明いただき、若い世代の人たちにも伝わるような説明の仕方を工夫していただければと思います。

最後に個人的な話ですが、私は町外に通勤しているので王寺町は圧倒的に交通が便利なまちであり、大阪に住むのと同じような利便性で、しかし少し田舎の環境の良いところに住めるといったアピールを、王寺町に住んでいる人だけでなく、大阪などたくさん予備軍がおられるところに対して、もっとアピールしていくということを強化されてはどうかと思います。長くなりましたが、以上です。

【町長】

色々ご提案いただきまして、ありがとうございます。情報提供の仕方ということで、フェイスブックやホームページあるいはペーパーベースでかわら版を月2回と王伸、紙とネット系など色々な手法でもって発信したいと思ってい

ます。ただ、紙媒体で見たいという方も当然おられますので、ホームページに頼ってしまってもいけません。両方の配慮を持って、SNSを使うというのはそのとおりだと思いますが、できるだけ色んな世代の方にうまく伝わるように工夫していきたいと思っています。王寺町のかわら版は月に2回、直近の情報を中心に提供させていただいております。それから月1回の王伸もあります。当面の将来のことはかわら版で、そして実績を王伸で掲載するという概ねの区分けでやっています。実は調べたところ、このような形で月2回各家庭に配布させていただいているのはおそらく県内で王寺町だけです。生駒市がそれに近いことをやっていますが。少し前に月1回に集約しようという意見もありましたが、それは今までずっと町で2週間に1回は最新の情報をお届けするというをやってきていますので、それは決して集約しないという形で維持しております。誰に対してどのような有効な情報を出すかは課題であります。例えば災害時の安全安心メールも、実はなかなか広がりません。これはやはり高齢者の方には馴染みにくいのだと思います。ですので、色んな町のイベントの時にぜひ携帯電話を持ってきていただき、その時に登録したり、あるいはできるだけ出張して広めるなど、住民のみなさまの状況に応じてどのような手法でもって行えば一番適切かという視点で常に考えているつもりです。しかし、ご指摘いただいたとおり、SNS系は弱いと思っており、今後工夫していきたいと思っています。

今回の総合戦略ですが、ざっと見ていただくと確かに総花的という風に映ったかもしれません。確かに施策的には羅列ということで、しかし、ある程度順番をグルーピングしながら挙げているつもりです。我々は決して総花的とは思っていません。これは5年間の計画ですが、交付金として国の財源手当のあるものですので、どこまでの充足度でできるかは一生懸命やりますが、5年間で地域づくりあるいは暮らしづくりをするためには、せめてこういったメニューでもって5年間は一生懸命取り組んでいきたいという想いで書かせていただきました。それぞれ、人的あるいは予算的にはそういったボリュームの掛け方は当然メリハリをつけなければいけません。こういったメニューを今想定しているということです。それぞれのメニューについて濃淡があることはここには書ききれませんが、ご理解いただきたいと思っております。またこの計画ですが、PDCAということで目標数値を掲げないと交付金の対象になりません。それぞれの指標もそれぞれの理由をつけて目標値を設定しているのですが、PDCAで評価をしながらサイクルを回していくこととなります。そのため目標値を掲げております。これは継続して今後とも住民のみなさまに年度ごとにどのような達成度かを示しながら5年間進めていきたいと思っていますので、よろしく願いしたいと思っております。

【進行】

大変申し訳ございません。予定時間がせまっておりますので最後おひとかたにお伺いしたいと思います。ご質問やご意見のある方は、挙手をお願いいたします。

質問6

「国道168号（畠田地区）通学路の安全確保・南小学校の教員が不足していないか・小学校新1年生の把握（子ども会活動）が難しい地区の対応」について

【質問者】

私は長年子供会活動に携わらせていただいております、その中でいただいた意見を参考に質問させていただきます。まず先ほど町長から、168号線と25号線の交通の利便性を高めたいということでお話がありました。現在は朝の子どもたちが通学する時間に車の通行が多い通学路があります。そこにまた交通の利便性が良くなると、すごく危険も出てくるかと思えます。そういった意味でも、今でも子ども会のお母さん方は、畠田地域などは車がすごく多く危険だとおっしゃっていました。先日も小学生が巻き込み事故で亡くなるという辛いニュースがありましたが、王寺町でこれからそういった悲しい事故が起こらないように、どのようにお考えでしょうか。また学校の方でも南小学校はたくさんの生徒が増えましたが、その中で教師の人員が足りているのかという心配もあります。もうひとつは4月になると子ども会の会員になるときに、お母さん方が、新一年生がどこの家にいるのか、また新しく転入してきた家庭はどこかなどの情報が全然入ってこないとおっしゃっていました。それも確認しに行っても、役所でも学校でもなかなか教えてもらえないということで、入学した後から子どもたちが増えていたということが分かるようで、子ども会に何人いるかという把握も難しいという現状があるようです。学校、地域、家庭の3つがサポートしていかなければ、子どもたちを守っていけないと思います。その辺の情報協力をしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【町長】

ご意見ありがとうございます。事故は王寺での事故ではないですね。やはり、今工事をしているところは、危ない箇所はあります。それはできるだけ早く進める一方で、見守ってあげる人的な体制を確保することも必要だと思います。もちろん、緑のおじさんや交通安全母の会のみなさまなど色々ご協力いただき交通安全に努めていただいていることは、本当に感謝を申し上げたいと思

ます。いろんな協力の得方があるかと思いますが、今は帰宅時も十分なのかなという問題意識を持っています。そういったところにも必要性はあると思いますので、どういう方にどういったサポートをしていただけるかを、ぜひ相談させていただきたいと思います。また、南小学校から南元町に行く道路のT字路には年度内に信号機を設置する予定です。特に南元町では通学・通園の子どもたちが増えていますので、前からずっとお願いしており、やっと付くことになりましたので、ご報告させていただきます。100%は対応できないかもしれませんが、子どもたちの交通安全は大事ですので、できるだけ対応させていただきたいと思いますので、またご意見をぜひお寄せいただければと思います。ありがとうございました。

【進行】

ありがとうございました。本日ご意見いただけなかった方も、後日パブリックコメントにより、総合戦略案に関わるご意見を募集します。3月4日発行のかわら版おうじ、また王寺町ホームページでお知らせしますので、よろしくお願いします。それでは、以上をもちまして3日間開催させていただきましたタウンミーティングを閉じさせていただきたいと思います。それでは閉会にあたり、平井町長から本日お集まりいただきましたみなさまへのお礼も含めまして、ごあいさつ申し上げます。よろしくお願いします。

【町長】

本日は限られた時間でありましたが、足元の悪い中ご参集いただきまして本当にありがとうございました。今日の説明は住民のみなさんにご理解いただけているわけではないと思いますが、5年間の基本的な王寺のあり方を改めて示させていただきました。また色んなご意見もパブリックコメントだけではなく、ぜひお寄せいただくようお願いいたします。今後ともぜひよろしくお願いします。ありがとうございました。